

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) : 牟田 薫
所属 (School) : 工学域 電気電子系学類
学年 (Grade) : 4 年
留学先 (Name of overseas institution) :
ドイツ人工知能研究センター (DFKI)
留学期間 (study abroad period) :
2018/10/1~2019/3/8
記入日 (Date) : 2019/3/20

留学レポート Study Abroad Report

工学域電気電子系学類情報工学課程4年の牟田薫です。上記の期間におきまして、ドイツ人工知能研究センター (DFKI) で研究留学へ行かせていただいたので、ここで報告させていただきます。

* そもそもなぜ留学に行った？

留学してみないか？と先生から誘いがきたときに、行くなう今しかないと思ったからです。M1 では大学院の授業やインターン、M2 では就活や修論と、大学院在学中に留学することはかなり自分の重荷になるのではと当時は考えていました。それに加えて先輩が4年の時に、私と同じ状況で留学に行ったという話を伺っていたので、強い後押しとなったと思っています。

* 何をしていた？

研究所では、近年脚光を浴びている Deep Learning アルゴリズムの一つである、画像分類に特化した Convolutional Neural Network というものを用いて皮膚病の画像分類を行っていました。そもそも留学前の私にとって Deep Learning は、例えばコンピュータに大量の猫の画像を入力させたとき、コンピュータが入力から猫の特徴を学習し、最終的には猫の画像を与えられたとき「これは猫だ」と自動的に認識する、というざっくりとした理解しかしていませんでした。つまり具体的にどうこの仕組みを実装するかまでは理解していなかったのです。その点で最初は苦労しました。ただ、現地の supervisor の助けもあり結果的には、皮膚病の画像分類というテーマで卒論提出および Journal に提出することができたので、本当に嬉しかったとともに安心しています。



DFKI での研究発表の様子

研究所近くのカイザースラウテルン工科大学の食堂のご飯です。学生証を取得すれば、毎日このボリュームの食事が 2.4€ (300 円程度) で食べることができるのでお世話になっていました。コスパ最高です！(ただ脂っこく味も濃いので飽きる)



近くの大学の食堂のご飯 (これがドイツ料理です)

せっかくヨーロッパに来たからには、観光しないと！と思いますよね。ドイツの休日を利用してパリ、ロンドン、アムステルダム…etc 様々なところへ観光に行きました。ヨーロッパの街並みは絶対一生に一回は生で見たほうがいいですよ！！感動しますからほんと。



青空バックでのオランダの風車



ルーブル美術館

*ぶっちゃけ感想は？

様々なことを経験し学んだと思っています。初めての一人暮らし、英語が通じないことによるコミュニケーションの難しさや異国ならではの文化・しきたり、そして研究所で一緒に研究させていただいた研究者の方々の姿勢を直に目にして、自分自身を見つめなおすいい機会になりました。なおかつ結果、この留学が自分自身にとって成功体験として残っているからこそ、日本に帰国した今、この半年間肌で感じたことを様々な形で周りに還元できればと思います。

今回の留学は非常に周りの環境に恵まれたと思っています。研究所に先輩がいること、同じ研究室からもう二人留学仲間がいたこと、そして親切な人たちに囲まれたこと…非常にラッキーでした。留学するにあたり手厚いサポートをしていただいた、大阪府立大学および DFKI の教職員・事務の方々そして両親に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

*最後に、留学を考えている皆さんへ

行こうか迷うくらいなら絶対に行くべきだと思います。長期で留学するなんて、学生の間でないとめったにできない、本当にラストチャンスだと言っても過言ではないです。お金の問題が気になるという方もいると思います。私もその一人でした。ですが、調べてみれば現在は様々な給付型の奨学金制度が充実しているので、それを使ってみるのがいいです。私も JASSO (日本学生支援機構) からの給付奨学金で行かせていただきました。皆さんの健闘を祈っています！！